

1. 教育事業名 「平成30年度幼児からの自然体験活動指導者研修」
2. ね ら い 渡嘉敷島の豊かな自然を活用した自然体験活動を実際に行うことで、幼稚園教員や保育士等が自らの経験を豊かにするとともに、自然体験活動の意義を理解し、実際の指導力向上を図る。
3. 期 日 平成30年9月22日（土）～23日（日）
4. 場 所 国立沖縄青少年交流の家
5. 募集人数 50名
6. 参加人数 28名
7. 参加者内訳 幼稚園教諭8名、保育士20名
8. 講 師 照屋建太氏（沖縄キリスト教短期大学保育科教授）
 講義①「体験活動の意義と幼稚園教育要領・保育所保育指針」
 遠矢英憲氏（名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科上級准教授）
 講義②「幼児期における運動と水辺の安全管理」

9. 実施プログラム

9月22日（土）	9:00	10:00	11:10	12:00	13:00	14:40	16:10	19:00	20:30
	那覇市泊港とまりん集合 受付	フェリーとかしき	移動	開講式	昼食	講義① 「体験活動の意義と幼稚園教育要領・保育所保育指針」	講義② 「幼児期における運動と水辺の安全管理」	休憩 夕食 入浴 タベのつどい	クラフト(貝殻フォトフレーム)作成 情報交換会
9月23日（日）	7:00	8:30	9:00	11:30	14:30	16:00	17:10		
	朝のつどい 朝食	移動	実習 「体験活動の指導法①」 ～ マリン活動 ～	実習 「体験活動の指導法②」 ～ 野外炊事 ～	閉講式	移動	フェリーとかしき	那覇市泊港にて解散	

10. 活動の様子



開講式



講義①



講義②



クラフト（貝殻フォトフレーム）



マリン活動（大型カヌー）



マリン活動（オープンカヤック）



マリン活動（スノーケリング）



安全管理についての説明



野外炊事（オリエンテーション）



野外炊事（薪火の管理）



野外炊事（調理）



閉講式（履修証明書授与）

11. エピソード（参加者の声や観察より）

- ・ 保育園保育指針の説明で自然体験が大切だということを学んだ。現場でも活かしたい。
- ・ 海の活動における安全管理については、知らないことが多かったので勉強になった。また、水辺の危険生物について知ることができた。
- ・ 水難事故の怖さやその予防について知ることができた。
- ・ 海は怖いと感じました。目を離さず、楽しく遊ばせるようにしたい。
- ・ マリン活動においてはいろんなプログラムを体験でき、楽しかった。ウミガメが見られて良かった。

- ・海洋研修時の重要ポイントや安全管理のノウハウを学べた。
- ・勤務する園でも自然体験活動を取り入れたい。
- ・初めてのスノーケリングでしたが、十分に楽しめた。
- ・泳ぐのが苦手だが、スタッフの助言やサポートで安心してマリン活動ができた。
- ・初めて足がつかない場所へ浮き輪なしで行き、感動した。自然体験の大切さを実感した。
- ・スノーケリング初体験だったが、サンゴや多くの魚に出会えて感動した。
- ・渡嘉敷の海の美しさに癒やされた。
- ・安全面や指導法についても話が聞けて良かった。
- ・野外炊事において、協力して活動することでコミュニケーションや絆が深まり良かった。
- ・自然体験活動における安全管理については注意することが多くあることを知り、今後気をつけたいと思った。
- ・渡嘉敷島の自然の素晴らしさを存分に体験できた。子ども達の指導に役立つ内容であった。
- ・同業者同士のつながりができて良かった。
- ・2日間学んだことを今後現場で活かしたい。

1.2 担当者所見

【成果】

本事業では、渡嘉敷島の自然を生かした様々な活動を行うことで、参加者に自然体験活動の意義や素晴らしさを感じてもらうとともに自然体験活動の指導法やリスクマネジメント、幼稚園教育要領、保育所保育指針についての講義など、参加者が幼稚園や保育所ですぐに実践、活用できる内容を主体に、プログラムを構成した。また、各講師の実践的できめ細やかな指導は、本事業のねらいを達成する上で大変重要な要素であった。受講生の感想にも、「自然体験活動の大切さを知ることができた。」「すぐに実践に生かせる内容で良かった。」など、多くの肯定的な意見が綴られていた。2日間の全講習を通して、安全管理に対する意識の向上及び野外炊事指導、レクリエーション指導、海洋研修指導等をとおして、体験活動の指導法の工夫改善等、本事業のねらいを、概ねに達成することが出来たと感じる。

【課題】

- ・2日間の日程のなかに多くのプログラムを挿入したので、参加者に忙しい感を与えてしまった。また、多くの参加者が「海洋研修の時間をもっと多くとったほうがよい。」とアンケートに記入しており、プログラムの絞り込みと配置の工夫が必要である。
- ・学生の参加応募がなかった。学生の参加者を増やすために実施日程と広報の方法を工夫する必要がある。